

平成22年度 第2回 府中市文化財保護審議会議事録

日時 平成22年8月20日（金）午後3時30分

場所 府中市役所北庁舎第3会議室

出席者 田中会長、猿渡副会長、小澤委員、坂詰委員、長沢委員、中村委員、馬場委員 以上7名

事務局 英文化振興課長、江口副主幹、塚原文化財係長、庄司郷土資料担当主査、中山事務職員

傍聴者 1名

1 審議事項

会長 それでは審議事項（1）から事務局の説明求めます。以下、審議事項（1）から順にお願いします。

（1）武蔵国府関連遺跡・JR府中本町駅前地区（仮称）の保存及び活用について

事務局 これまでの経緯をご報告させていただきます（資料1）。平成20年7月から発掘調査がすすんできていまして、重要な埋蔵文化財が発掘されてきたということです。この場所での大型店舗の新築計画については、交通協議のほううまくいかず新築計画を正式に断念するといった動きになりました。文化庁は「国の史跡級である」ときわめて重要な遺構であるということも土地所有者にお伝えしています。そのことで土地所有者からも協力したいというお話がありました。場所は府中市本町1丁目14番地1、2及び3の一部で、面積は7、812.76平方メートルです。黒い線の内側が武蔵国府の既指定範囲です。今回の調査場所は黒い太い線で囲まれた部分です。国衙域から約200mと近い場所になります。全体図で見ると国司館跡とみられる正殿、前殿、脇殿などの古代の建物跡が整然と並んでいることがわかります。現地での発掘調査が行われていて、現在は徳川家康の御殿関連の遺構の確認調査をすすめているところです。この8月19日（木）に記者発表資料としてご報告させていただいたものをここに添付させていただきました。8月26日（木）には市長定例記者会見でこれまでの発掘調査の成果について報告させていただく予定です。

この場所については国指定史跡として公有地化した後に整備をすすめていく予定になっています。今後は市民のみなさんの意見も伺いながら活用を考えていきたいという次第です。

会長 資料にある新聞記事について説明してください。

事務局 読売新聞、東京新聞に掲載された記事を抜粋しました。いずれも多摩版です。昨日はNHKニュースでも放映されたということです。

会 長 説明は以上ですがこの件について何か質問等ありますか。

委 員 武蔵国府跡の追加指定ということですが、国府関連遺跡とともに家康の府中御殿は表に出るのですか。

事務局 府中御殿の遺跡についてもきちっと報告していきたいと思います。文化庁からは古代武蔵国府の遺跡の追加指定を考えているとのことですので、文化庁としては今のところ家康の御殿については考えていないということです。しかしこれから御殿の調査成果についてもきちっと文化庁に報告していきます。

委 員 国府の追加指定ということですね。

事務局 史跡指定にはあくまで御殿は関係ない。含まれない、表には出てこないということですが、府中御殿についても重要な遺跡なので改めて調査成果を出していくつもりです。

委 員 当該地全部が指定範囲ですか。

事務局 全部です。府中御殿の史跡指定については将来の問題です。

(2) 国指定天然記念物馬場大門のケヤキ並木の保護対策について

事務局 国指定天然記念物馬場大門のケヤキ並木の保護対策について説明させていただきます。このたびケヤキ並木は文化財保護法に基づき、府中市が保護管理団体に指定されましたので、現在保護にあたっているものです。府中市では文化振興課文化財係が管理していますが、事務局は公園緑地課、道路部分は管理課が管理にあたっていて、その他はケヤキ並木担当がやるというように庁内でも役割分担を行っています。先日、本年度の保護対策についてケヤキの調査を実施したところです。国道 20 号の南、北側の W35、39 という樹木と、W34、E103 という樹木の計 4 本について各個体の空洞調査を行いました（資料 2）。調査方法は振動波測定器を用い、振動波をみるという方法で行いました。調査結果は、W35 については腐朽率 67 パーセントで不健全、W39 は腐朽率が 27 パーセントと低いのですが、太い枝が危険で何らかの処置が必要であることがわかりました。W34 については腐朽が拡大しつつあることもわかりました。E103 についても腐朽が進行する恐れがあるということでした。現場をご確認いただいた福島委員のコメントをいただいていますのでここで報告します。

W35 については非常に危険で幹が国道側に倒壊する恐れがあるため伐採する必要があります。伐採後の切株などをモニュメントで残すのも一案です。W39 は大枝 2 本が歩道側に伸びていますが、枝を支える対策で残すべきでしょう。W34、E105 については今すぐに危険ということでもなさそうなのですが観察を継続していく必要はあります。

今後のケヤキの保全対策ということで図面を提示いたしました（11P）。危険木は赤字で記してあります。今年度も引き続き危険木の保護対策をすすめてい

く予定です。

委員 危険木はサクラの咲いていた木ではないですね。

事務局 その木は既に伐採済みです。W35 付近では国道側に石垣が出張っているため新宿方面からの左折の車の事故が頻繁に起こっています。石垣をセットバックできないかという意見も出ていますが、そもそも国道のほうがケヤキ並木より後の時代につくられているのです。またW37 の付近でも左折する車と歩行者との事故が頻繁に起こっています。

委員 ケヤキ並木の交通を遮断すれば事故はなくなるのでは。

事務局 交通とセットバックすることとは別問題です。今日は危険木を伐採するかどうかをご審議いただきたい。やるとしたら根元から切ることになります。

委員 伐採するには文化庁の許可が必要ですか。

事務局 危険木の伐採については報告のみで済みます。W35 の伐採についてここで了承いただきたい。

会長 W35 の伐採について了承します。

審議事項はこれで終わります。

2 報告事項

(1) ふるさと府中歴史館（仮称）の工事及び開設準備の進捗状況について

事務局 ふるさと府中歴史館（仮称）の工事及び開設準備の進捗状況についてご説明いたします（資料3、図面参照）。まず工事予定ですが、耐震改修工事が9月竣工予定になっていまして、展示工事は平成23年1月竣工予定になっています。1階の展示室（G）は先般本審議会で幅1.8mでは通路として狭いというご意見をいただきましたので変更して広がっています。床は専をイメージしています。また展示室を仕切る壁に閉塞感があって中がよく見えないというご意見がありましたので、設計を変更して壁を取り払いました。2階は東側の部分は文書館の顔ともいえる閲覧室、南側は文書資料の展示室になります。西側には地区図書館の宮町図書館が移ってきます。3階は南側が全国の国府資料を集めた国府資料室、北側は多目的会議室でいろいろな催しものができます。西側は文化振興課文化財係の事務室です。建物図面の説明については以上です。

次に文書館資料の整理状況についてご報告させていただきます。まず市史編纂室旧蔵近代行政文書ですが、明治10年～昭和55年までのもの現在4,469点があります。データは約3,500点分を図書館オンラインに登録済みで検索できるようになっています。今後は中性紙箱に収納し箱番号等のデータを修正して開館に備えます。次に保存期限満了公文書で、歴史的に貴重な文書として平成6年～16年度までの分3,186点があり、選別とデータの作成が済んでいます。今後はデータを図書館オンラインに登録し、中性紙箱への収納等の作業

を行う予定です。またその他には予算書他の府中市関係の行政資料（印刷物）3,037冊を現在図書館オンライン登録済みで、現在も引き続き装備、オンライン登録を行っています。他に市民の方からの寄託の新聞資料が488点あります。これは図書館から引き継いだ資料で明治期からの新聞の多摩版が全て残っている貴重な資料です。国府資料室の資料は、全国の国府所在地の市町村からの寄贈を受けた報告書等の資料で約600冊ありますが、現在データ作成中です。文書館資料としては他に写真、地図、パンフレット、ポスター類等があります。他に昭和59年～平成19年に撮影された府中市内の航空写真（未整理）等もありまして、これらの資料も文書館で閲覧できるようにしたいと考えています。

会 長 職員の体制はどうなっているのですか。

事務局 アーキビストという文書館専門職の養成は難しく、現在は学芸員資格を有する職員で対応しています。可能であれば嘱託等で専門職員を入れることも検討していきたいですが、はっきりと決まっていません。

会 長 1階の展示室の職員はどうなるのですか。

事務局 コンシェルジュゾーンに職員が付くかどうかですが、ボランティアに入ってもらうなど検討中です。

委 員 府中市の行政資料に関してですが、文書館では現在本庁の行政資料室で収集しているものを引き継ぐのですか。

事務局 まだ広報課と協議しているわけではありませんが、検討していく予定です。

委 員 その他の資料（写真、地図等）は府中市のものですか。

事務局 公文書、行政資料以外のものを別に分けていますが、これらも府中市に関するものです。

委 員 今まで図書館で保管してきたものを文書館に移管するのですか。図書館との線引きはどうなっているのですか。

事務局 文書館は資料の保存が中心、図書館は資料の利用が中心となります。図書館は府中市以外の地域のものも数多くありますが、文書館では府中市で発行したものを核として収集いたします。図書館があるのに文書館で行政資料が必要かどうかということですが、利用者の質問によっては公文書まで閲覧しなくても行政資料（印刷物）だけでもレファレンスに対応できるということもありますので、文書館にも行政資料は必要です。文書館では府中市で作成された文書は行政資料を含めて全て残すという方針です。

委 員 資料の保管スペースが不足してきているということもあるので、府中市の刊行物全てを図書館から文書館へ移管をしてもいいのではないのでしょうか。利用者が混乱しないように両者の住み分けをきちんとしていくべきであろうと思います。

事務局 図書館や博物館との間で住みわけと協力を考えていきたいと思えます。

(2) 国史跡武蔵府中熊野神社古墳展示館(仮称)の新築工事について

事務局 展示館については本審議会でもご意見が出ましたが、ほぼ最終的に決まった案を今回提示させていただいています。以前の図面では計画建物の西側に古墳の石室(復元)があったのですがこれを見直しさせていただきました(資料4)。1~3階の平面図をご覧ください。平面プランが三角形でインパクトのある形状になります。西立面図にみえるように壁面に実際の古墳の高さを表示しています。エレベータで1階と2階を移動することが可能です。建物の面積は狭いですが、公園内に建築できる大きさでは最大規模となります。建物の設備が完成した段階で展示工事に取り掛かります。その後外構工事を行う予定で、最後に石室の整備をすすめていく予定です。

委員 3階には登れないのですか。3階にはエレベーターも付かないのですか。

事務局 付近に民家があるということで屋上は公開しません。周辺環境に配慮しています。開館の時期は来年度一平成23年度中のオープンを目指しています。

委員 展示館の北側の土地についてはどうなっているのですか。

事務局 今すぐには買収できるという状況ではありません。

委員 この場所で観光バスの駐車スペースはとれるのですか。

事務局 周辺の土地があいてくればそれも考えられます。

(3) ふるさと再発見!武蔵府中歴史まつり2010の開催について

事務局 昨年度は「国府ロマン交流祭(国府サミット)」を開催しました。今年度一第2回は他市にお願いしたい。

今年度は「武蔵府中歴史まつり2010」として10月30、31日の土日に熊野神社境内で「古墳まつり」を開催します。11月3日(祝日)には「国府パレード」、「府中市民歴史フォーラム」を開催予定です。「古墳まつり」は地元の古墳保存会が中心となって行いますし、11月3日のイベントについても先般実行委員会が開催された次第です。平成23年度以降はふるさと府中歴史館(仮称)が大國魂神社境内に開館しますので、新たなイベントを開催していきたいと考えています。

第2回国府ロマン交流祭については千葉県の市原市が開催を検討しているということです。国府まつりについては以上です。

2 その他

(1) 次回の開催日程について

次回平成 22 年度の府中市文化財保護審議会の第 3 回です。

10 月 1 日 (金) 午後 2 時、午前 10 時を候補に調整します。